

■避難勧告などの種別

種別	拘束力
避難準備情報	低 ・事態の推移によっては、避難勧告や避難指示を行うことが予想されるため、避難のための準備を呼び掛けるものです。
避難勧告	・居住者に立ち退きを勧め、促すものです。避難を強制するものではありません。
避難指示	高 ・人的被害などの被害の危険が迫ったときに発せられるもので、避難勧告よりも拘束力が強くなります。直接強制はしません。



▲河川の護岸を削り取るほどの大きな被害をもたらした

危険が迫れば避難勧告も 予期せぬ局地的な豪雨

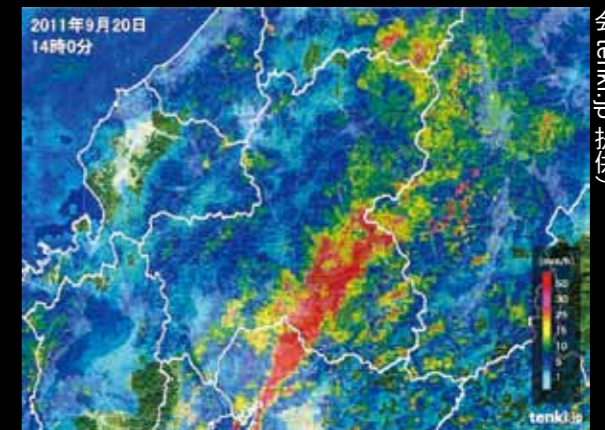


▲今にも氾濫しそうに荒れ狂う中野方川（昨年9月20日午後2時ごろ）

昨年9月20日、台風第15号の上陸と本州に停滞していた前線の影響で、市内では局地的に大雨が降りました。中野方町では、町内全域に新市になって初めての避難勧告が出されました。この大雨による被害は大きく、中野方川では、一部が氾濫して堤防が崩れ、住宅では、床上や床下浸水などが起きました。

ここでは、この教訓を生かし、いつ起きるか分からない災害への対応や避難に当たっての心構えなどをお知らせします。

□問い合わせ 防災情報課☎26-2111（内線317）



▲局地的な豪雨となった9月20日午後2時の雨雲（一般財団法人日本気象協会tenki.jp提供）

中野方町で初めて避難勧告

昨年の台風15号は、前線を伴い、9月20日から21日にかけて、東海地方で猛威を振るいました。市内では、中野方町や飯地町を中心に雨量が多く、特に中野方町では、最大時間雨量50mmを記録する非常に激しい雨が降りました。両日の総雨量は、飯地町で330mm、中野方町で308mmでした。

市では20日、大雨・洪水警報や県の土砂災害警戒情報などを受けて、警戒体制を敷いていました。雨が非常に激しくなり、河川の氾濫など各

地で被害が出始めた午後2時10分、中野方町5区から11区の自治会に避難勧告を発令しました。これは、合併以後、初めてのことでした。さらに、危険な状態が続いたため、午後4時45分には、中野方町全域となる519世帯、1757人に避難勧告を発令。町民は、中野方コミセンや中野方小学校に避難をして、身を守りました。

河川は27カ所が氾濫の被害

この豪雨では、多くの被害を受けました。床上浸水は中野方町で1件、床下浸水は、中野方町や飯地町、明智町、笠置町で19件ありました。ま

た道路の崩壊は18カ所、山崩れは11カ所、農業施設被害は30カ所ありました。河川は、中野方川などで27カ所が氾濫しました。その他、ため池があふれるなどの被害もありました。この災害での被害額は、推定で6億8600万円でした。交通では、国道が2路線、県道が9路線、市道が5路線で通行止めになった他、JR中央本線や明知鉄道が運転を見合わせるなどの影響がありました。

避難も視野に入れて行動を

今回の豪雨では、人的な被害は、一人もありませんでした。これは、



被災者

泥水が家の中まで入ってきてびっくり

安江 かほる さん
(中野方町)

昨年の豪雨では、大水が出て家の周りには見る見るうちに川のようになりました。裏の山からは、石や木材が流れて、排水路がふさがり、あふれた泥水は、玄関の床下まで入ってきました。60年住んでいますが、初めてのことで、とてもびっくりしました。一人暮らしのため、地域の人が心配してくれて、避難所に送ってもらえたので、自分は安心できましたが、家のことはずっと気掛かりでした。

雨が落ちてからは、排水の流れを変えてもらったので、これからは大丈夫だと思いますが、あの時を思い出すと恐ろしいです。



防災隊

作っても作っても足りない土のう

小出 朋巳 さん
(中野方町)

私たちは、昨年7月、消防団や自主防災組織の補助を行う中野方防災活動隊を結成しました。結成したばかりの9月、あの豪雨がありました。午後1時ごろ、連絡網でメンバーを招集。中野方コミセンで土のう作りを担当しました。ところが、土のうの要請はひっきりなしで、作っても作っても、足りない状態でした。用意された砂はなくなり、保育園や小学校の砂場の砂も使いましたが、これも底をつくほどでした。

災害後、「土のうはありがたかった」との言葉をもらいました。初めての実践の場で、役に立つことができ、結成して良かったと実感しています。

速やかな避難や、的確な状況判断で行動したことなどが功を奏したといえます。当市は、山に囲まれ、傾斜が多いため、一度大雨が降ると、河川に水が流れ、水位が一気に上がることがあります。また山が水を含むと、土砂崩れや斜面の表面が崩壊する深層崩壊なども起きやすくなります。日ごろから、住まいや地域の地形などを把握し、大雨のときの危険を知っておく必要があります。市では、非常時には、できる限りの情報を提供しますが、もし自身でも危険を察知したら、避難することも視野に入れて行動し、身を守るようにしてください。

※コミセン＝コミュニティセンターの略



▲警報情報などが得られる市安心安全メール

正しい情報を入手し行動を
 災害時に的確な行動を取るためには、正しい情報の入手が大切です。情報が入手できる例を紹介します。

●**防災行政無線**
 屋外スピーカーで、屋内外の方に情報を伝達するものです。この防災無線からの放送は、各家庭内の音声告知器と連動しており、屋内でも十分に情報が得られます。

●**市安心安全メール**
 本システムに登録した方は、災害や犯罪、火災など、身の回りの危険に関する情報が携帯電話やパソコンの電子メールに送られてきます。まだ登録していない方は、ぜひ、登録をしてください。登録は、本紙16ページのQRコードや市ウェブサイト

(<http://www.city.ena.lg.jp/>) などから登録できます。

●**災害情報緊急速報メール**
 配信可能な当市のエリア内にいる全ての人の携帯電話に、無料で自動的に情報が配信されます。避難勧告など緊急を要する災害情報を、より多くの方に迅速に提供します。登録の必要はありません。

このサービスは、市安心安全メールに登録していない、主に市外の方が当市に来ている場合などに情報を伝える有効な手段です。

市では、次の携帯電話会社3社のサービスに加入しています。▽NTTドコモ ▼KDDI ▲au ▼ソフトバンクモバイル

※受信できる機能がある携帯の機種は、携帯電話会社に確認ください

●**災害伝言ダイヤル**
 災害時の安否確認は、NTT西日本の災害伝言ダイヤル「1711」や各携帯電話会社の災害伝言サービスを活用してください。

「1711」は、毎月1日、15日が体験日。使い方を確認しましょう。「再生は2」を選び、「録音は1」。

②被災した人の自宅の電話番号を市外局番からダイヤルして、メッセージを録音したり聞いたりします。

●**災害伝言サービス**
 地震などの災害発生時には、通話

- ◆ **主な持ち出し品** ◆
- ・ 食料 (乾パン、飲料水、缶切り、紙皿など)
 - ・ 携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池
 - ・ 医薬品 (ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤など)
 - ・ 免許証、健康保険証、各種権利証書など
 - ・ 現金 (10円硬貨)、預金通帳
 - ・ 衣類、生活日用品 (衣服、タオル、洗面用具、下着)
 - ・ 雨具、軍手、ヘルメット、防災頭巾、マッチなど

非常時の持ち出し品を用意
 いざ避難をするときに、それから持ち出し品を用意しては、手遅れになる恐れがあります。また大規模な災害の場合は、お店でも必要な品が手に入らないこともあります。非常時の持ち出し品は、日ごろから準備しておくよう、心掛けてください。

が集中し、電話がつながりにくくなります。大規模災害時には、メールなどを活用してください。

電話を掛ける場合には、手短な通話を心掛けたり、不要な電話を控えたりして、被災地での緊急を要する電話がスムーズに利用できるよう、協力をお願いします。

土砂崩れ
 巨大地震
 季節台風
 集中豪雨



災害への備えと避難準備を



▲川の増水で危険になる場所には注意

地形や近くの危険を把握
 家の周りや通学路、生活する地域では、危険な箇所がありませんか。普段は穏やかに流れる川や側溝の水でも、大雨が降ったときには、一気に急変し、流れが速くなったり、道にあふれ出したりします。また急勾配の山が迫っている地域では、大雨や地震で土砂崩れが起きる危険性もあります。

あなたの家庭では、災害への備えができていますか。局地的な集中豪雨や台風、今にも起こるかも知れない巨大地震、裏山の土砂崩れなど、災害につながる要因はいつでも隣り合わせです。災害は、命の危険にさらされたり、通常の生活が失われたりする恐ろしいものです。各家庭でも、「もし災害が起きたら」を想定し、災害への備えと避難の準備を心掛けてください。

普段から、雨が降った時の水の流れや水がたまる場所などを把握し、家族や地域の人たちと話しておくようにしましょう。

市内の各地域では、災害が起きた時の危険を想定して、地図上に危険箇所を示す訓練を行う災害図上訓練(DIG)が行われています。これは、地域の状況や危険な箇所を知ること、避難場所や安全な避難ルートを知る手掛かりになります。

災害が起きたとき、家では何が危険か、外では何が危険かを知った上、いざというときには、安全に避難できるようにしておいてください。

家の風水害対策は万全に
 台風や大雨に備え、家を点検してありますか。屋根や雨どい、外壁や窓ガラスなどを点検し、家が壊れたり、水が中に入ったたりする可能性がある場合には、事前に修繕や対策をしておくことを勧めます。

家の点検のポイント

- 雨どい・雨戸**
 - ・ 雨どいに落ち葉や土砂が詰まってないか
 - ・ 継ぎ目の外れや塗装の剥がれ・腐りはないか
 - ・ 雨戸にがたつきや緩みはないか
- 屋根**
 - ・ 瓦のひび・割れ・ずれ・剥がれはないか
 - ・ トタンのめくれ・剥がれはないか
- ベランダ**
 - ・ 鉢植えや物干しざおなど、飛散の恐れがあるものは室内に入れる
- 窓ガラス**
 - ・ ひび割れや窓枠のがたつきはないか
- 外壁**
 - ・ 壁に亀裂はないか
 - ・ 板壁の腐り・浮いていないか

防災訓練

9月2日(日) 午前8時

「地域の危険箇所を知り、対策を話し合おう」

防災行政無線と各家庭の音声告知器で、地震発生時のサイレン吹鳴と放送を行います。
 皆さん、各地域で行われる防災訓練に参加ください。